

東北芸術工科大学大学院芸術工学研究科 2027 年度入学試験概要

下記リンク先と合わせてご確認ください。

<https://www.tuad.ac.jp/adm/information/master/>

対象：芸術工学研究科(修士課程)

① 学力検査等の内容

芸術工学研究科では、専攻・研究領域ごとに異なる選抜方法を実施しています。主な選抜方法は以下の通りです。

- **面接試験**：全専攻・研究領域で実施。個別またはグループ形式(受験者多数の場合)。
- **小論文**：研究領域に応じたテーマで記述(1,000～2,000 字程度)。
- **英文和訳**：一部の研究領域(保存修復・歴史文化)で実施。
- **作品提出・ポートフォリオ**：領域・コースに応じて、出願時または試験日に提出します。提出内容は研究領域ごとに異なるため、募集要項の各表を確認してください。
(例:卒業制作、論文、ポートフォリオ、作品ファイル、映像作品、プロジェクト実績資料等)

② 試験問題に関する情報

- **小論文テーマ例(一部抜粋)**：
 - 「私の目指す芸術」(絵画領域)
 - 「自分の作品と社会、美術との接点」(工芸領域)
 - 「今の時代の教師のあり方について」または「アートを社会で活用することの意義について」(芸術教育学領域)
 - 「あなたがこれまで最も影響を受けたと考えられる作品または研究について解説し、その作品または研究からの影響と、今後 2 年間大学院で研究制作を続けようとしているテーマとの関係性について」(デザイン工学専攻 クリエイティブ・シナジー・コース)
 - 「これまでの実務経験や学習歴のうち『デザイン思考／デザイン経営的アプローチ』を感じた具体場面、または解決したい社会・ビジネス課題を軸に、大学院でどう拡張・実現したいか」(デザイン工学専攻 クリエイティブ・イノベーター・コース)
- **英文和訳**：保存修復(500 字程度)、歴史文化(200 字程度)
- **出題・評価の観点**：小論文・提出物・面接等を通じて、研究計画、専門性、思考力、表現力、研究意欲等を確認します。

③ 合否判定の方法および基準

- 面接、小論文、英文和訳、提出物等を踏まえて総合的に判断します。
- 合否は、Web 上の「合否結果照会」にて通知されます。

④ 合理的配慮の提供に関する対応方法

- 障がい等により受験上の配慮を必要とする場合は、出願登録期間開始日の 1 ヶ月前までに入試課へメールで相談が必要です。
- 医師の診断書(原本)の提出が必要です。
- 提出された情報をもとに、学内で協議の上、配慮の可否および内容を決定し、出願登録期間終了日前までに通知します。

対象：芸術工学研究科(博士後期課程)

① 学力検査等の内容

博士後期課程では、研究領域に応じた選抜方法を実施しています。主な選抜方法は以下の通りです。

- **面接試験**：全研究領域で実施。分野別面接により、研究計画や専門性、研究意欲などを確認。
- **小論文**：90分で記述。研究に必要な論理的思考力や表現力を評価。
- **英語試験**：60分で実施。英和辞書および英英辞書の持ち込み可(電子辞書は不可)。
- **作品・論文提出**：研究領域に応じて、修士論文、学術論文、作品(ポートフォリオ含む)等を提出。

② 試験問題に関する情報

- **小論文**：90分で記述。博士後期課程の共通科目として実施されます。
- **英語**：60分で実施。英和辞書および英英辞書の持ち込み可、電子辞書は不可です。
- **提出物**：
 - 芸術文化領域(平面造形)：100号以上で1年以内に制作した作品2点、作品ファイル。日本画・洋画以外の版画等その他の分野は、それに準ずるものを提出。
 - 芸術文化領域(立体造形)：作品ファイル(過去3年以内の作品10点程度)
 - デザイン工学領域：修士論文等(修了見込み者はそれに準ずる論文)1点、または分野に属すると判断できる最近の作品3点以上。論文等と作品の両方提出も可。

③ 合否判定の方法および基準

- 面接、小論文、英語、提出物等を踏まえて総合的に判断します。
- 合否は、Web上の「合否結果照会」にて通知されます。

④ 合理的配慮の提供に関する対応方法

- 障がい等により受験上の配慮を必要とする場合は、**出願登録期間開始日の1ヶ月前まで**に入試課へメールで相談が必要です。
- 医師の診断書(原本)の提出が必要です。
- 提出された情報をもとに、学内で協議の上、配慮の可否および内容を決定し、**出願登録期間終了日**前までに通知します。